

快適な通信を維持するプレッシャーからの解放

少数体制の情シスが抱える
ネットワーク運用の課題を
トータルサポートで解決

はじめに

NW構築は導入後のサポートが重要

自社も取引先もIT化が進み、クラウドサービスが当たり前にも活用されています。そのため、通信量が年々増加し、ネットワークの重要性に改めて注目が集まっています。

Wi-Fiなどの通信環境は電気やガスのように「あって当たり前」という時代になりましたが、情報システム担当にとって通信の快適さを維持するには日々大変な労力と努力が欠かせません。

ネットワークには「つながらない」「つながりにくい」「遅い」などのトラブルがつきものです。その対応、トラブル時の即応体制など、情シスにかかる負担は小さくありません。

本資料では、少数でネットワーク管理を行うことに限界を感じ、テクバンのネットワーク構築サービスで環境改善を試みた事例をご紹介します。

INDEX

はじめに	1
NW構築は導入後のサポートが重要	
1. 導入の背景	
ネットワーク環境改善と少数体制の情シス運用	4
課題1：ネットワークの環境改善	5
課題2：少数体制の情シスでの運用は限界	6
課題3：複数ある保守の窓口は初動が遅くなる	7
2. NW構築サービスが選ばれた理由	
最小限の設備投資で最大限のサービスをご提供	9
メリット1：保守窓口は一つのトータルサービス	10
メリット2：ネットワークの運用負荷を減らす提案	11
メリット3：豊富な知見と経験で業務をサポート	12
3. 導入の効果	
効果1：保守窓口が一つで初動対応がスムーズ	14
効果2：定期的なサポートで円滑な業務を実現	15
効果ビフォーアフター	16
おわりに	17
NW構築は導入して終わりじゃない	
企業情報	